

しまねっ湖



キジハタ *Epinephelus akaara*

CONTENTS

- 特集・春の特別展……………2～3
- ゴビウスのなかまたち……………4
- しまねの水辺紀行／シャッターチャンス！……………5
- 生きものガイド……………6
- こらまたなんたら！／表紙の生きもの……………7
- イベント報告／インフォメーション……………8

魚のヒゲのひみつ!

開催期間

2022年3月16日水～5月9日月

今回の特別展のテーマは「魚のヒゲ」です。「ヒゲを持つ魚は何?」と聞かれたら、どんな魚をイメージされますか?身近な魚では、コイやナマズが思い浮かぶでしょう。魚のヒゲは、人のおしゃれや^{ぶしょう}無精で生やしているものではありません。では、何のためにヒゲがあるのでしょうか?特別展では、「ヒゲ」を持っている魚とともに、その役割やひみつを^{しょうかい}紹介していきます。

魚のヒゲには大きく二つのタイプがあります



^{しよく しゆ}触鬚タイプのヒゲ

一つ目は、味やにおいを感じる感覚器官として発達したヒゲで、多くは口の周辺に左右で対になって生えています。濁った水の中で生活することが多く、あまり視力が良くない魚や砂の中に潜んでいる獲物を泳ぎながら探す魚がこのようなヒゲを持っています。



^{ひ べん}皮弁タイプのヒゲ

二つ目は、皮ふの一部が変化したヒゲで、周囲の様子を探るレーダーのような役割があります。水の流れ(動き)や、近づいてきたほかの生きものが出す振動を感知することができます。まるで無精ヒゲのように顔全体に生えていたり、体にまで生えていることもあります。普段は水底でじっとしていて、獲物が近づいたらぱくりと食べる魚に多いヒゲです。



コイ



口元にある2対4本のヒゲで砂の中に潜むエサを感じると、下向きの口で砂とともに吸い込みます。



オニオコゼ



普段は海底でじっとしていますが、体中にあるヒゲでエサが近づいたことを感じると、大きな口で吸い込みます。



～ヒゲ魚のダンディズム！ご自慢のヒゲを拝見！～



イタチウオ



上下のあごにそれぞれ3対のヒゲがあります。のどの近くにある、先端が2つに分かれたヒゲのようなものは腹びれです。



ヨメヒメジ



下あごに1対のヒゲがあります。水底からあまり離れず、ヒゲを震わせながら砂の中に潜むエサを探します。



チゴダラ



下あごに1本のヒゲがあります。日本近海の比較的浅い海底付近でヒゲを使ってエサを探しています。



ヒゲモジヤな魚たち!無精髭も魅力の一つ?



フサギンポ



顔や頭のまわりに多くのヒゲがあります。特に目の上の大きな皮弁は人間の眉毛のようにも見えます。



ブッシープレコ



顔中にヒゲがたくさんあります。オスもメスもヒゲがありますが、オスはメスよりもヒゲが長くなります。



オニカサゴ



海底の岩場に潜んでおり、体中にあるヒゲでエサが近づいたことを感じると、大きな口で吸い込みます。



(中野浩史)

特別企画

じゃんけんカード

どんなカードがお楽しみに！
集めてあそんでね♪
入館時に受付でお配りします。



全3種類!

展示ガイドブック

魚のヒゲのひみつを解説！
特別展の生きものを中心にイラストや写真をまじえて紹介します。



特別展クイズ

特別展会場でクイズに参加してね！
正解するとオリジナルラムネがもらえるよ！

答えはスタンプで!





ゴビウスのなかまたち

汽水のなかま タケノコメバル

「汽水のなかまたち」のコーナーにあるNo.3水槽には、スズキやヒラスズキに交じってタケノコメバルがいます。少しとんがった体型と茶色のまだら模様に惹かれる、ちょっと気になる存在です。

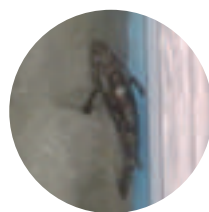


タケノコメバル

本種は、カサゴやクロソイなどとともに「ロックフィッシュ」と呼ばれ、野生では、海中の岩場に生息する魚です。水槽内では、あまり泳がず、物陰でじっとしていることが多いため、泳ぎまわっているスズキなどと比べてあまり目立ちません。水槽の前

を通るたびに、どこにいるのかなと思わず探してしまいます。お気に入りの場所があるようで、最近、水槽に向かって右側の岩影によくいます。

さて、この魚は名前に「タケノコ」と付いています。「タケノコが生える時期に美味しいこと」や「姿がタケノコに似ているから」などの諸説が



タケノコみたい!?

あります。私はこの魚を食べたことはありませんが、後者の説ではないのかなと思ったりしています。水平方向に頭を向けているときはあまり感じませんでしたが、垂直方向に頭を向けた姿を見たとき、その思いがより強くなりました。

みなさんは、どう思われますか？水槽の中のタケノコメバルを探して、その名前の由来を想像してみるのも良いかもしれません。

(田久和剛史)

淡水のなかま コガタノゲンゴロウ

あそびっ湖まなびっ湖ひろばにある水生昆虫の展示コーナーでは、現在、2021年にゴビウスで繁殖させたコガタノゲンゴロウがにぎやかに泳ぎ回っています。ゲンゴロウのなかまは、水中をスイスイと泳ぐかわいらしい姿や、飼育が比較的しやすいことから、水生昆虫の中でも高い人気があります。その一方で、生息環境の悪化や、アメリカザリガニやヌートリアといった外来の生きものが生息地に侵入した影響などにより、自然界では見かける機会が減っている生きものなのです。



コガタノゲンゴロウ

コガタノゲンゴロウも国内では、一時期絶滅寸前となった地域がありました。しかし、詳しいことはわかっていませんが、近年、九州や本州西部では増加傾向にあることがわかっています。島根県でも2000年以降に確認情報が増えており、私自身も秋から初冬にため池や水路でよく見かけるようになったと感じています。

自然界では寒い山陰の冬もちゃんと乗り越えられるのか、どこで繁殖して増えているのかなどわかっていないこともありま



すが、絶滅のおそれの 2021年12月のため池で観察あるコガタノゲンゴロウが、今後も増え続けていくのかとても気になっています。コガタノゲンゴロウをはじめ、ゴビウスで展示する水生昆虫にもぜひ注目してみてください。

(桑原友春)

しまねの水辺紀行 ⑥1 山でくらす生きものとの出会い

最近^{しゅ さい}は、趣味でよく山に登っています。2021年9月、鳥根^{けん}県奥出雲町と鳥取^{とっとり}県日南町との県境にある船通山^{ふねと}に行ってきました。この日は、天気も良く絶好^{ぜつこう}の登山日和。登山口^{とんさんこう}に着いてから谷間の山道を歩き、沢筋^{さか}を何度か左右へと渡りながら登っていきます。一部の道は、この地方で砂鉄^{さてつ}を取るために盛んに行われたカンナ流しの水路跡^{みづみちあと}を利用した登山道で、ブナ林などを観察しながら歩くことができます。道の横に流れる沢に手を入れるとひんやりと冷たく気持ち良さを感じます。周囲に広がる清々しい景色に思わず足が止まり、何度も眺めてしまいました。



登山道横に流れる沢

山の中の湿^{しめ}った場所を歩いていると、1匹の小さなカエルに出会いました。種類が気になったので、近づいてよく観察してみると、大きさが手のひらよりも小さいニホンヒキガエルでした。それが、私自身がはじめて見た野生のヒキ

ガエルとなり、偶然^{ぐうぜん}でしたが、観察できたことにうれしく感じました。



手のひらサイズのニホンヒキガエル

このほかにも、ヘビやトカゲなどは虫類^{ちゅうるい}のなかまにも出会いました。自然の中で生き活きとくらす生きものたちをカメラに収めたくて、驚かせないように慎重^{しんちょう}に近づいてみましたが、こちらの動きを察知^{さち}されたようで、勢いよく逃げられてしまいました。次は、生きものたちを遠くからでも撮影^{さつえい}できるカメラを準備し、撮った写真^{しやうしん}を紹介できたらと思います。

みなさんも自然を楽しむ方法として、旅先で出会った身近な生きものに関心を寄せてみてはいかがでしょうか。条例により保護^{ほご}されている山の生きものもいますので、そっと観察するだけにしておいて下さい。

(森永和希)

シャッターチャンス!

昨年^{あき ころ}の秋頃、館内の水槽^{すいそう}でタガメのオスが水中から出て、卵^{たまご}を一生懸命^{いっしょうけんめい}守っているところに遭遇^{そうごう}しました。

オスは、木の枝^{えだ}に産み付けた卵^{たまご}がふ化するまで、乾燥^{かんそう}や外敵^{がいてき}から卵を守ります。

繁殖^{はんしよく}盛期^{せいき}よりも遅いですが、必死^{ひっし}に守る姿^{すがた}を見て、父親^{おとこ}になった姿に頼もしさを感じました。

(松本千優)

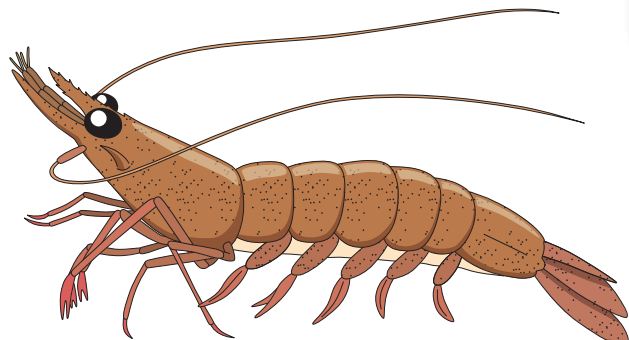




ヨシエビのひみつ

「額角」

エビのなかまの頭の角を額角と呼びます。ヨシエビの額角には、トゲが6～9本あります。



「胸脚」

ハサミは小さく、水底を歩くことや水底の砂などに潜ることに適した形です。

なまえ：ヨシエビ

生息地：東京湾以南の沿岸域から汽水域

宍道湖七珍のひとつで、「モロゲエビ」や「本庄エビ」の地方名でも呼ばれています。体長は10～15センチになります。島根県では、おもに中海に生息していますが、宍道湖東側でも見かけます。

「第2触角（ヒゲ）」

ヨシエビのヒゲはとても長く、体長の2倍以上にもなります。

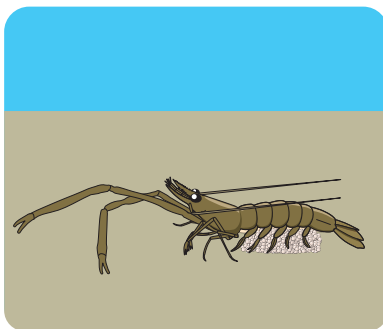
「体色」

体は、薄い茶褐色で、体表には小さな黒点が無数にあります。

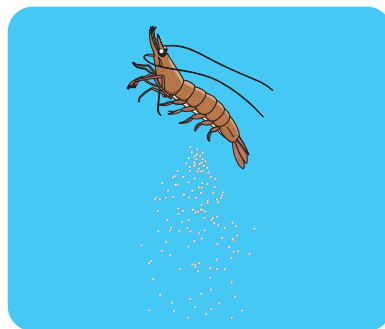
成長すると、脚が赤くなり、尾の先端が青色に縁どられることもあります。

抱卵と放卵

ヨシエビを含むクルマエビ科のエビは、他の種類のエビに見られるような卵をお腹に抱く抱卵ではなく、卵を水中に放出する放卵という産卵方法をとります。



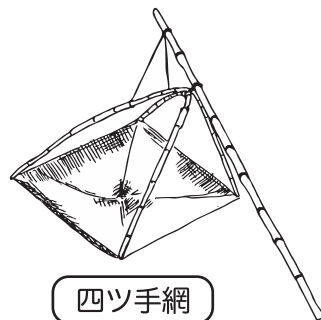
抱卵



放卵

宍道湖・中海におけるヨシエビ

宍道湖七珍のひとつであるモロゲエビは、ヨシエビの地方名です。かつては、宍道湖・中海でもたくさんのヨシエビが漁獲され、四ツ手網という漁具を使った漁が行われていました。現在では漁獲量が激減し、市場にもほとんど出回らなくなりました。四ツ手網を使ったヨシエビ漁も、今ではもう見ることはできません。



四ツ手網

(坂本 脩)

こらまたなんだら! 其の二十七 金の馬 銀の馬

島根県でバトウ（馬頭）と呼ばれているマトウダイ。冬から春にかけて、大きさ30～40センチのものが魚屋さんに並ぶことが多く、体の中央にある黒い丸模様が、弓で矢を打ち込むときの的を連想させることからマトウダイ（的鯛）と名付けられたと言われています。また、地方名のバトウは、長く突き出すことができる口元が、まるで馬面のようなことから付けられたようです。いずれの呼び名も、その独特の姿形に由来したのですが、海の中では、体全体が金色に輝くように見えるととても美しい魚です。普段は、岩場でエサとなる小魚などを待ち伏せし、その大きな口を瞬時に開くことで丸のみにします。かなりの大食漢のようで、以前、魚屋さんから購入したマトウダイの胃の中から、7～8センチのネンブツダイが10尾以上も出てきたことがありました。



マトウダイ

一方、銀バトウという名で売られている魚を見かけることもあります。体形は、マトウダイそっくり

なのですが、全体が銀色で、黒い丸模様は見あたりません。実はこちら、カガミダイという別の種類の魚で、マトウダイと同様に馬面をしていることからバトウの名が付くものの、銀メッキを施したような体色が印象的なため、銀バトウと呼ばれています。



カガミダイ

両者とも、身は、ごく薄いピンク色で、どんな料理でもおいしくいただけるのですが、個人的には、大きな肝臓を湯通しして作った肝醬油でいただく刺身が、最高の食べ方かと思っています。

この季節、魚屋さんにはマトウダイとカガミダイが一緒に並ぶこともあります。そんな場面に出会ったときには、両者を食べ比べてみるのも一考です。食卓に並ぶ「金の馬」と「銀の馬」は、ちょっと豪華な感じがしませんか？

（中畑勝見）

表紙の生きもの キジハタ *Epinephelus akaara*

キジハタは、鮮やかなオレンジ色の体色に緑色の目を持つとても美しい魚です。水槽では、のんびりと泳ぎ、時には人を観察するように近づいてきます。

日本各地で地方名があり、島根県では「アカミズ」や「アコウ」などと呼ばれ親しまれています。また、長崎県では「アカアラ」と呼ばれており、これが学名akaaraの由来になっています。

あまり知られていませんが、性転換をする魚でもあり、成長するとまずメスとして成熟します。その後、全長が30センチほどになるとオスになる

ものが増えてきます。不思議な生態にも生き残るために考え抜かれた戦略があるのかもしれません。

（逢坂香織）



イベント報告

～「からくり紙細工をつくろう！」編～

1月15日に、イベント「からくり紙細工をつくろう！」を開催しました。昨年のイベントに引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながらの開催となりました。紙を引っ張ると、子どもの時の姿から、成長した見た目が全く違う姿に変わる紙細工を作成していただきました。一瞬で姿が変わる様子に、小さなお子さまから大人までみなさん驚き、楽しんでおられました。

(大山淳子)



ゴビウス生きものの観察会に参加しませんか？

ゴビウスでは毎月1回、生きものをテーマに観察会を開催しているよ！

5/22 日曜日 10:00～11:30

受付開始 **5/8**

プランクトンを観察してみよう！

プランクトンってどんな生きもの？知っているようで知らないプランクトンの世界をのぞいてみよう！



6/19 日曜日 10:00～11:30

受付開始 **6/5**

アメンボを観察してみよう！

ゴビウス園内を流れる小川にアメンボを探しに行こう！水面上に浮かぶのはなぜ？アメンボをじっくり観察してみよう！



定員 申込先着 **30名**

対象 どなたでも
(小学生以下は保護者の参加も必要)

4月から「ゴビウス生きものの観察会」はWEBでのお申し込みになります！

ホームページにある観察会予約ページからお申し込みください。
お申し込みは開催2週間前の9時30分からです。



3回参加で
プレゼント！

ゴビウス・グリーンパーク・尺の内公園共通
観察会チャレンジカード



ゴビウス・グリーンパーク・尺の内公園の観察会に参加するとスタンプを押します！
スタンプが3つたまるとオリジナルノートをプレゼントします。
観察会の組み合わせは自由！

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、県の対応方針に伴いイベント等が中止になることがあります。ご来館の際は、ホームページにて最新情報をご確認いただきますようお願いいたします

ご来館案内

●入館料／大人…500円(400円)

小中高生…200円(160円)

※()内は団体20名様以上の料金

●年間パスポート／大人…1,400円

小中高生…500円

ご家族で同時にご購入いただくと2割引になります。

大人 1,120円、小中高生 400円。

※割引の適用は同居のご家族に限ります。他の割引との併用不可。

●開館時間／9:30～17:00(最終入館は16:30)

●休館日／火曜日、年末(12月28日～12月31日)

※火曜日が祝日の場合は、その翌平日が休館日となります。

みなさんのご来館
お待ちしております。



- 一畑電車湖遊館新駅より徒歩10分
- 出雲空港より車で10分
- 山陰道穴道インターより車で15分
- 駐車場／100台(無料・トイレ完備)

ゴビウスニュースレターしまねっ湖 No.73

発行日／2022年4月10日

発行／島根県立穴道湖自然館ゴビウス(管理運営：ホシザキグリーン財団)

〒691-0076 島根県出雲市園町 1659-5

TEL 0853-63-7100 FAX 0853-63-7101

URL www.gobius.jp/ E-mail gobius@gobius.jp

■動物取扱業に関する表示

氏名または名称：公益財団法人ホシザキグリーン財団

事業所の名称：島根県立穴道湖自然館

動物取扱業の種別：展示

登録番号：第073102040号

登録年月日：2007年5月17日

登録有効期限：2022年5月16日

取扱責任者：中野浩史



古紙/バブル配合率
80%再生紙を使用

本誌は地球環境に優しい
植物油インキを使用して
おります。



植物油インキは、大気汚染の原因となる
VOC(揮発性有機溶剤)の削減および
再生紙処理の優位性が高い成分です。